**伊奈かっぺいライブ in 成城〜その17〜**

**・・・すこし訛って　ずぅ〜っと訛って・・・**



**ふるさと津軽の懐かしい香りを漂わせながら、**

**時には鋭く、時には可笑しく・・・。**

**本当なのか、冗談なのか・・・、**

**遊び心満載で明るく元気がでる“酒のでない居酒屋・かっぺい亭”。**

**教育、文化、政治、経済など、幅広い分野の話題を、**

**独特の視点から斬り込み、**

**絶妙な語り口で観客を煙(けむ)に巻く。**

**“かっぺいワールド”へようこそ！**

**2018年7月15日（日）15：30開演**

**於：清瀬けやきホール**

**青森在住で津軽弁を駆使した語り口と、ユーモアあふれるステージで人気のある伊奈かっぺいが、清瀬けやきホールでソロトークライブを行う。**

　　1974年に｢消ゴムで書いた落書き｣を自費出版。これがユニークな活動のきっかけとなり､青森放送のサラリーマン時代から、土・日・有休を使い、全国を駆け回り､津軽弁を駆使し、日常生活に題材を取ったペーソスある独特の笑いの世界を創り上げてきた。

2007年4月、青森放送退職。

これを機に、今度は平日でも、呼ばれれば全国どこでも出かけトークライブを行っている。

2014年に、ステージ活動40周年を迎えた。

今回は原点に戻り、バックには、地元青森の津軽三味線奏者・山上進と二人で行います。

他人を利用して、どこまで図々しく楽しめるものか・・・と、もちろん、厳しい状況の中でも“笑いとユーモア”を忘れない東北人の逞しさ、未だに認知度の少ない新青森駅の実情（もはや通過駅の運命なの？）、そして何やらきな臭い時事ネタも折込んだトークライブに望む予定。

伊奈は｢人間、過去を振り返るようになればおしまいかもしれないなぁ、と思いながらも､振り返れるおかしな過去があったことに感謝････｣と語っている。

津軽の風をたっぷり満喫できる公演です。

公演日時■**2018年7月15日（日）**15：00開場／15：30開演

全席指定■前売3500円／当日3800円

会場■清瀬けやきホール（☎（TEL.042-493-4011）東京都清瀬市元町1-6-6

　　　　　　西武池袋線 池袋駅から準急24分、西武池袋線 清瀬駅北口から徒歩4分

ﾁｹｯﾄ問合せ■Ｋ・企画　（☎＆FAX 03-3419-6318）

　　　　　　　　　HP <http://k-kikaku1996.com>

　　　　　　　　　E-mail <info7@k-kikaku1996.com>

　■清瀬けやきホール（☎（TEL.042-493-4011）

　　　　　　　　　HP：http://kiyosekeyakihall.jp/

　■イープラス（http://eplus.jp/）

　■カンフェティ（0120-240-540　平日10～18時）

主催■清瀬けやきホール（アクティオ株式会社）

企画製作■舞台よろず相談所 Ｋ・企画

**出演●伊奈かっぺい**

**津軽三味線・尺八・横笛●山上進**

**伊奈かっぺい　プロフィール**



　本名：佐藤 元伸〔さとう もとのぶ〕

　1947年4月16日、青森県弘前市生まれ。

タレント、作家、詩人、ラジオパーソナリティ、イラストレーター、エッセイスト、シンガーソングライター、俳優‥と、多彩な顔を持つ。

以前は、(株)青森放送の社員でもあり、2足のわらじで東北地方を中心に幅広いタレント活動・創作活動を行ってきた。

昭和49年、方言詩集『消ゴムでかいた落書き』を自費出版。これが「伊奈かっぺい」のユニークな活動のきっかけとなる。

昭和61年、日本テレビ系「かっぺい＆アッコおかしな二人」などで全国に活躍の場を広げ、現在も日常生活に題材をとったペーソスある独特の笑いの世界を創り上げ、自作の詩の朗読、自作の歌などでステージ活動を続け、全国的に幅広いファンを獲得している。

また、東京で11年間定期的に行ってきた渋谷ジァン・ジァン(2000年閉館)での津軽弁トークコンサートは、同郷出身の淡谷のり子、高橋竹山、矢野顕子らと並ぶ人気を誇った。

現在、RABラジオ「伊奈かっぺい『旅の空 うわの空』」などの他、日本全国で幅広くタレント活動・創作活動を行っている。

津軽弁を愛する根っからの津軽衆。「津軽弁の日やるべし会」の代表者の一人でもある。

●ＣＤ●

「ライブ晩 津軽13日の金曜日」

「雪は天から人は地から-20年目の冬-」

「にぎやかなひとりごと」／など

※今年、レコードデビュー40周年を記念して、CD『腹這いのララバイ ～40年目の落書き～』を

　10/4に発売予定！

●著書●

「津軽だべッ！」　「講演会ゴッコ」

「げんせん書け流し」　「入れ歯の寝言」

「もっけのさいわい」　「言葉の贅肉」／など、多数リリースしている。